

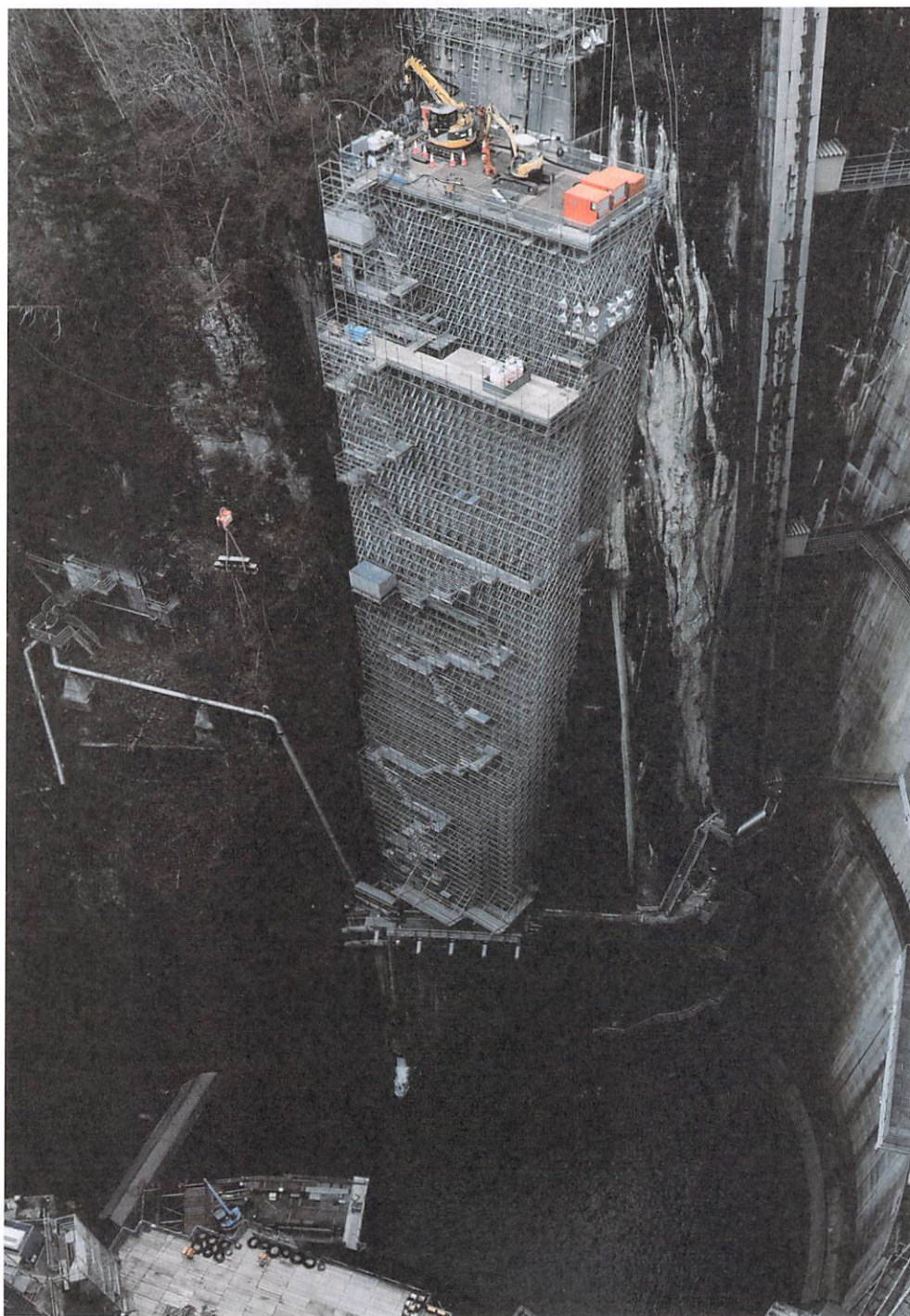
第45回
2020

JPS展

日本写真家協会
写真公募展

2020 the 45th Exhibition of the JPS

作品募集



受付期間

2019 2020
12.10 — 1.15
火 水
最終日
消印有効

テーマ

自由 *応募規定をよくお読みください。

応募部門

一般部門 / 18歳以下部門

用紙サイズ

A4または六つ切

応募資格

アマチュア、プロフェッショナル、年齢、性別、国籍を問いません。ただしJPS会員は除きます。

*JPSホームページから応募要項のダウンロード、メールマガジンの登録ができます。

5名の審査員があなたの力作をお待ちしております



野町和嘉
審査員長



熊切大輔



高砂淳二



水谷たかひと



伏見美雪
「アサヒカメラ」編集長

【主催】公益社団法人 日本写真家協会

【共催】公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

【後援】文化庁 東京都(一部)

●入賞、入選作品は東京都写真美術館・愛知県美術館・京都市美術館別館にて2020年5月より順次展示予定。

公益社団法人日本写真家協会 第45回2020 JPS展
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 JCIビル303
TEL 03-3265-7453 FAX 03-3265-7460 e-mail: info@jps.gr.jp

JPS展公式ホームページ



応募規定

テーマ

自由 *注意事項をよくお読みください。

応募資格

アマチュア、プロフェッショナル、年齢、性別、国籍を問いません。ただしJPS会員は除きます。

応募部門

- 一般部門：年齢を問いません
- 18歳以下部門：2001年4月1日以降生まれの方

応募プリント

用紙サイズはA4または六つ切 8×10インチ(203×254mm)に限るカラー、モノクロ共プリントのみ(デジタル・銀塩を問いません)。デジタル加工も可。ただしデジタル加工・合成等の欄に印を入れること。余白・余黒の有無は自由です。作品は、必ず応募者本人が撮影したものであること。

出品点数

単写真=制限はありません。組写真=5枚までを1組の限度として何組でもかまいません。組写真は、左より順に並ぶように構成して番号をつけてください。ただし、写真同士を貼り付けないこと。また台紙にも貼らないで応募してください。

受付手数料

一般部門：1枚につき2,200円(組写真の場合も1枚2,200円)

18歳以下部門：1枚につき600円(組写真の場合も1枚600円)

郵便局より下記、郵便振替口座へ2020年1月15日までにお振込みください。お振込みがない場合は審査しません。

作品の中に受付手数料を同封することは、厳禁とします。

応募作品返却希望者は、返却料2,200円を加算してお振込みください。(応募作品の返却は6月下旬から7月上旬を予定しています。海外からの応募の場合は返却できません)

郵便振替 口座番号：00110-5-651936

口座名称(漢字)：日本写真家協会JPS展

* 通信欄に応募部門、応募合計枚数、ご依頼人の郵便番号、住所、氏名、氏名フリガナ、電話番号を必ずご記入ください。

* 氏名には必ずフリガナをふってください。

受付及び締切

2019年12月10日(火)～2020年1月15日(水)まで。

郵送または宅配便に限ります。直接持参されても受付いたしません。最終日消印有効。

審査員

野町和嘉(審査員長)、熊切大輔、高砂淳二、水谷たかひと、伏見美雪(『アサヒカメラ』編集長)

* 審査員の都合により変更になることがあります。

審査結果

3月中旬頃、応募者全員に文書にて通知。また、ホームページ(<https://www.jps.gr.jp>)とメールマガジンでも発表します(電話でのお答えはいたしません)。

展示用作品

入賞・入選作品は、後日指定する期日までに各自で半切に引出し、再提出していただきます。その際には作品の原板・データが必要になりますので、必ず保存しておいてください。文部科学大臣賞、東京都知事賞、金・銀・銅賞作品については大型サイズになる場合があります。

展示及びパネル製作費

入賞・入選作品は、当協会特注のパネルにて展示しますので、一般部門は1枚につき8,800円、18歳以下部門は1枚につき4,400円を指定の日時までに納入していただきます。入賞・入選の辞退はできません。

作品集

第45回2020JPS展作品集の刊行を予定しています。作品集の原稿には応募作品を使用します。

賞

●一般部門

文部科学大臣賞	1名(賞状・盾・賞金50万円・副賞)
東京都知事賞(予定)	1名(賞状・盾・賞金30万円・副賞)
金賞	1名(賞状・盾・賞金15万円・副賞)
銀賞	2名(賞状・盾・賞金10万円・副賞)
銅賞	3名(賞状・盾・賞金5万円・副賞)
奨励賞	5名(賞状・盾・賞金2万円・副賞)
優秀賞	20名程度(賞状・盾・副賞)
入選	200名程度(賞状・記念品)

●18歳以下部門

最優秀賞	1名(賞状・盾・副賞)
優秀賞	10名程度(賞状・記念品・副賞)
入選	10名程度(賞状)

展示会場・会期

東京都写真美術館	2020年5月23日～6月7日(予定)
京都市美術館別館	2020年6月23日～6月28日(予定)
愛知県美術館	2020年7月(予定)

注意事項

1. 原則として未発表作品に限ります。過去にコンテスト等で入賞・入選した作品及びそれらに類似した作品(同じ対象を同じような条件で同じ時期に撮影した作品)は応募できません。また、現在コンテスト等に応募し結果が判明していない作品も応募できません。
2. 被写体の肖像権、著作権には十分にご注意ください。スナップ等で人物を撮影された場合には、コンテスト応募の承諾を得てください。
3. すべての応募作品の著作権は撮影者に帰属します。ただし、入賞・入選作品は巡回展終了までの間に当該作品を他に使用する場合、当会の許諾を得てください。
4. 入賞・入選作品は、審査結果発表後、優先的に当展の広報宣伝等の目的範囲内で雑誌その他に使用することがあります。
5. 応募作品の返却を希望される方は、受付手数料納入の際、返却料2,200円(枚数に関係なく)を加算してお振込み下さい。※海外からの応募の場合は返却不可となります。返却は6月下旬から7月上旬を予定しています。
6. 入賞・入選の展示作品は展覧会終了後、着払いの宅配便で返送します。
7. 作品受理以前の事故、破損につきましては、その責任を負いかねます。作品は慎重に取り扱いますが、輸送途中の不可抗力による事故等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
8. 受付手数料、パネル製作費はいかなる場合でも返金いたしません。
9. 応募者は応募規定、注意事項を全て了承したものとみなし、違反した場合には入賞・入選は取り消しとなります。作品到着後における応募・展示の辞退はできません。また、過去に規定違反のあった方の受付はお断りすることがあります。
10. 応募者の個人情報の利用は今回のJPS展と今後の応募のご案内などの範囲とし、管理を慎重にいたします。
11. 18歳以下部門に応募された方が入賞・入選された場合は、年齢確認の資料を提出していただきます。

- 氏名、住所、題名、フリガナ等は、わかりやすく楷書でお書きください。
- 応募票が不足する場合は、コピーし、また作品番号を修正してご使用ください。
- 組写真の場合、作品目録の題名は、1組につき1行で書いてください。
- JPSのホームページから応募要項のダウンロードと、メールマガジンの登録ができます。(URL <https://www.jps.gr.jp>)
- 写真の枚数分題名を書く必要はありません。
- 応募後、住所変更等がある場合はお知らせください。
- 作品目録は、必ず本人控用のコピーを保存しておいてください。

第45回2020 JPS展 作品目録

応募規定、注意事項を了承の上、下記の作品を応募します。

応募部門
(○をつける)

一般

18歳以下

フリガナ (氏)	(名)	年齢	〒	-
作者		男 女	職業	フリガナ
住所	都・道 府・県			
*学校単位で応募の場合、学校名と担当者名を記入。(住所欄は学校の住所を記入)				
学校名				

※作品番号	題名	分類(○をつける)	電話
1	フリガナ	単 2・3 4・5 枚組	携帯電話
2	フリガナ	単 2・3 4・5 枚組	FAX
3	フリガナ	単 2・3 4・5 枚組	Email
4	フリガナ	単 2・3 4・5 枚組	〇〇〇〇〇〇〇〇 (チェックボックスに✓をいれる)
5	フリガナ	単 2・3 4・5 枚組	応募経験 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			応募作品の返却(料金2,200円必要)
			希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない
合計枚数		事務局記入欄	
枚			

この作品目録を必ず作品に同封してください

第45回 2020JPS展 応募票 (写真1枚に1枚貼付)

第45回 2020JPS展 応募票 (写真1枚に1枚貼付)

氏名			
この部分より上は写真の下にかくれるように貼って下さい			
題名	フリガナ		
※作品番号	デジタル <input type="checkbox"/> フィルム <input type="checkbox"/>	デジタル加工・合成等 <input checked="" type="checkbox"/>	単写真
	事務局記入欄		組写真枚組の番

氏名			
この部分より上は写真の下にかくれるように貼って下さい			
題名	フリガナ		
※作品番号	デジタル <input type="checkbox"/> フィルム <input type="checkbox"/>	デジタル加工・合成等 <input checked="" type="checkbox"/>	単写真
	事務局記入欄		組写真枚組の番

第45回 2020JPS展 応募票 (写真1枚に1枚貼付)

第45回 2020JPS展 応募票 (写真1枚に1枚貼付)

氏名			
この部分より上は写真の下にかくれるように貼って下さい			
題名	フリガナ		
※作品番号	デジタル <input type="checkbox"/> フィルム <input type="checkbox"/>	デジタル加工・合成等 <input checked="" type="checkbox"/>	単写真
	事務局記入欄		組写真枚組の番

氏名			
この部分より上は写真の下にかくれるように貼って下さい			
題名	フリガナ		
※作品番号	デジタル <input type="checkbox"/> フィルム <input type="checkbox"/>	デジタル加工・合成等 <input checked="" type="checkbox"/>	単写真
	事務局記入欄		組写真枚組の番

キリトリせん ✂

※このラベルは必ず封筒に貼付けて下さい

〒102-0082
東京都千代田区一番町25番地JCIIビル303
公益社団法人日本写真家協会 (JPS)
第45回 2020JPS展 御中

応募部門	一般	18歳以下	作品返却希望	する	しない
------	----	-------	--------	----	-----

○をつけて下さい

写真在中 禁二つ折

第45回 2020JPS展 応募票 (写真1枚に1枚貼付)

氏名			
この部分より上は写真の下にかくれるように貼って下さい			
題名	フリガナ		
※作品番号	デジタル <input type="checkbox"/> フィルム <input type="checkbox"/>	デジタル加工・合成等 <input checked="" type="checkbox"/>	単写真
	事務局記入欄		組写真枚組の番

審査員プロフィール

野町和嘉(のまち かずよし)

高知県生まれ。杵島隆に師事した後、1971年にフリーの写真家となる。1972年、20代半ばでサハラ砂漠に旅したことが契機となってアフリカを広く取材。極限の風土を生きる人々の精神世界、信仰をテーマに中国、チベット、サウジアラビア等で長期取材を続け、さらに2000年代以降は、アンデス、インド、イラン等を中心に取材を続けている。土門拳賞、紫綬褒章受章。2019年公益社団法人日本写真家協会会長に就任。

熊切大輔(くまきり だいすけ)

東京工芸大学短期大学部写真学科を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経て独立。「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影。2018年写真展及び写真集「刹那 東京で」を発表。「東京美人景」「東京動物園」と併せて東京の今を撮る三部作となる。そのほかに「Solitude NYC」「演じるコトー併優 石丸幹二の1年」等の写真展も開催。カメラ誌等連載、学校や写真教室の指導、トークショーなども行う。公益社団法人日本写真家協会理事

高砂淳二(たかさご じゅんじ)

宮城県生まれ。世界中の国々を訪れ、海の中から生き物、虹、風景、星空まで、地球全体をフィールドに撮影活動を続けている。著書に最新刊「PLANET of WATER」(2019年)をはじめ「Dear Earth」「night rainbow ~祝福の虹」「free」ほか多数。ザルツブルグ博物館やニコソThe Gallery他で写真展を多数開催している。自然と人間の関係性などについてトークショーやメディアを通して伝え続けている。みやぎ絆大使。

水谷たかひと(みずたに たかひと)

東京都生まれ。東京総合写真専門学校卒業と同時に渡仏。3年後に拠点を日本に移しスポーツイベントを追いかける。2001年写真展及び写真集「NEVER END」を発表。2005年にグループ展「水谷ファミリーグラフィティ・MY SPORTS」。2014年に報道写真展「上村愛子 16年のキセキ」を開催。同時に同名の報道写真集を発表。2013年より「キャノンイーグルス写真展」を現在まで毎年開催。株式会社マイスports出版代表取締役

伏見美雪(ふしみ みゆき)

「アサヒカメラ」編集長。長野県生まれ。大学時代に8ミリフィルムで映画を自主制作し、東京学生映画祭で林海象監督賞を受賞。卒業後、テレビ番組制作を経て1998年に光文社に入社。雑誌、書籍などの編集を経て、2010年に朝日新聞出版入社。2014年から「アサヒカメラ」副編集長。2016年から「週刊朝日」副編集長として、表紙・カラーグラビアを担当。写真集や文芸集なども多く手がける。2019年4月より現職。

JPS 公益社団法人 日本写真家協会

〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地JCIビル303
TEL 03-3265-7453 FAX 03-3265-7460

展覧会についての問い合わせは下記時間をお願いします。
平日 13:00~17:00 (土、日、祝日、年末年始は休み)



JPS展公式
ホームページ

応募作品のプリントは当店で

第45回

JPS展

2020 the 45th Exhibition of the JPS

2020

日本写真家協会 写真公募展

作品 募集

2019 2020
12.10(火) — 1.15(水) 最終日 消印有効

受付
期間

用紙
サイズ

応募先

A4または六つ切

公益社団法人日本写真家協会 第45回2020 JPS展
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地JCIビル303
TEL 03-3265-7453 FAX 03-3265-7460

公益社団法人
日本写真家協会 www.jps.gr.jp

【主催】

【共催】

【後援】

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

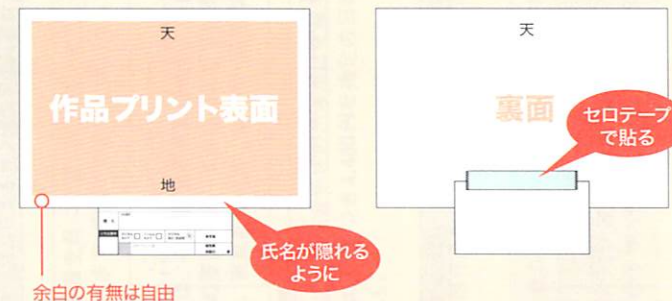
文化庁 東京都(予定)

副賞提供社 (前年度 五十音順)

株式会社 アイテム	スリック株式会社
朝日新聞出版 (アサヒカメラ編集部)	株式会社 セコニック
株式会社アスカネット	ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社
株式会社 アマナ	株式会社ソフトウェア・トゥー
株式会社 市川ソフトウェア	株式会社 タムロン
ヴァイテックイメージング株式会社	デジタルカメラグランプリ事務局
株式会社 栄光舎	凸版印刷株式会社
エプソン販売株式会社	株式会社 ニコンイメージングジャパン
LPL 商事株式会社	株式会社 日経ナショナル ジオグラフィック
オリンパス株式会社	一般財団法人 日本カメラ財団
株式会社ガードフォース ジャパン	株式会社 日本カメラ社
株式会社 キタムラ	株式会社 日本写真企画
キャンノンマーケティングジャパン株式会社	ハクバ写真産業株式会社
株式会社 学研プラス (CAPA 編集部)	パナソニック株式会社
清里フォトアートミュージアム	株式会社ビクトリコ
株式会社 クラレ	株式会社 風景写真出版
株式会社 クレヴィス	富士フイルムイメージングシステムズ株式会社
株式会社 ケンコー・トキナー	株式会社 フレームマン
株式会社 玄光社	株式会社プロ機材ドットコム
株式会社 宏栄	プロフォト株式会社
株式会社コスモス インターナショナル	ベルボン株式会社
サイバークラフィックス株式会社	株式会社 堀内カラー
株式会社 Sakura Sling project	三菱製紙株式会社
サンディスク株式会社	光村印刷株式会社
株式会社 シグマ	株式会社モーターマガジン社
株式会社 写真弘社	ライカカメラジャパン株式会社
写真文化首都 北海道「写真の町」東川町	リコーイメージング株式会社

応募票の貼り方 *下のイラストを参照して下さい

- セロハンテープを使用して下さい。両面テープや糊は絶対に使用しないで下さい。
- 作品の天地がわかるように、作品(プリント)下側の中央に貼って下さい。
- 応募票は作品の裏側から貼って下さい。
- 氏名部分は隠れるようにします。ただし題名は見えるようにして下さい。



余白の有無は自由

*ホームページにも貼り方を掲載しています。

- 作品受付は郵送または宅配便に限ります。(持ち込み不可)
- 応募作品は、希望者には返却します。(返却料2,200円)
(作品は慎重に取り扱いますが、傷む場合がありますのでご了承ください)